

特集

発達障害

本当に求められる支援とは

発達障害をもつ子どもの親から寄せられたメッセージ ——— 遠藤紀子・村山裕美
発達障害のある子どもと家族を支える「ノットワーキング」づくり ——— 田中康雄
学校保健との連携のコツ ——— 吉村奏恵

生涯を通じた支援へ向けて

①連携して障害児を支えるネットワーク会議の取り組み ——— 大槻 公

②母子保健から就学まで一貫した支援を支えるサポートファイルの取り組み

——— 青木規子

県が支援し市町村をつなぐ 発達障害支援ネットワーク構築 ——— 中島由加里

発達障害児支援に関する新しい取り組み

e-ラーニングを核とする多様な学習困難に対応した

地域単位の学習支援ネットワークの構築 ——— 正高信男

TOPICS

新型インフルエンザ・シミュレーション ——— 中坪直樹

編集後記

●編集後記についての編集後記。われわれ月刊誌の編集者は、毎月、この日までに全作業を終えなくてはならないという「責了日」に追われながら、日々、活字と睨めっこをしています。当然、責了間近は仕事が煮詰まって“テンパリ状態”なのですが、そんなときに書かなくてはならないのがこの編集後記。時間がない中で一気に書き上げるものだから、発行後に読んでみると恥ずかしいことこの上ない。編集後記は実に“編集後悔”なのです。

ただ、読者から反響があることもあり、黒子としての編集者のささやかな喜びだったりもします。会話の潤滑(ノ)

(ノ)油にもなることもあり、実際に会った人から「編集後記、いつも読んでますよ」と言われることも。先日は「和田さんてこんなに若い人だったのですね」と言われ、意外な気づきを得ました。弊誌担当の私と栗原はともに20代なのですが、どうも私の文章は老けているらしい……。

これはまずいというわけで、\(^-^)/とか(T-T)/といった顔文字を使って若作りを試みようと思いましたが、専門誌の編集者としての見識を疑われるのでいかがなものか。うーん、どうすれば、年相応のナウい文章が書けるのでしょうか。ああ、それは死語……。□□ (和田)

保健師ジャーナル 第64巻9号 2008年9月10日発行(毎月1回10日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2008, Printed in Japan

1部定価1,365円(本体1,300円+税5%) 2008年々ぎめ予約購読料15,000円(税込、送料弊社負担)

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部(03)3817-5657 社内案内(03)3817-5600

保健師ジャーナル編集室(03)3817-5774 電子メールアドレス hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当/和田・栗原・安部

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCLS (株)日本著作出版権管理システム委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670、FAX03-3815-8199)の承諾を得てください。1348-8333/08/¥250/論文/JCLSが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCLS宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。